

# 令和4年度 岩手県立釜石高等学校経営計画（定時制）

校長：青木 裕信

1 現状把握及び将来展望	(1) 学校に対するニーズ	児童生徒 ・学校生活の充実 ・高校卒業の資格 ・進路希望の実現	保護者 ・安全、安心な学校生活 ・高校卒業 ・進路希望の実現	地域住民 ・地域活動への参加 ・社会人、職業人としての自立	市内の中学校 ・わかる授業 ・多様な生徒への学習機会の提供
	(2) パートナーとの関係	児童生徒 ・信頼と尊重に基づいた教育活動	保護者 ・教育活動における連携と協働	地域住民 ・体験学習等を通じた地域との交流	市内の中学校 ・中高連携
	(3) 学校に影響を与える変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた教育活動</li> <li>・東日本大震災津波からの復興途上にある地域の生活・教育環境</li> <li>・年度による生徒数の増減と学力差の拡大</li> <li>・震災等による保護者の経済力の低下</li> </ul>			
2 校訓・教育目標		校訓：「文礼一如」 ・「知・徳・体」を備え、調和のとれた人間形成 ・豊かな心を持ち、たくましく生きる生徒の育成 ・広い視野を持ち、社会に貢献する人材の育成			
3 目指す学校像	(1) 今年度の重点目標  Communication Collaboration Confidence	重点目標		達成指標	
		ア 生徒が学習に積極的に取り組み、基礎学力を習得している		・参加態度や姿勢、取組を「良好」と答えた生徒の割合【80%以上】（授業アンケート）	
		イ 生徒が体験学習を通し地域と交流して、コミュニケーション能力を伸長している		・体験学習の評価シートの評価が「B」以上の割合【80%以上】	
		ウ 生徒が体験的な活動を通し集団の一員としての役割を担うことで、自己肯定感を感じている		・本校定時制に入学して良かったと答えた生徒の割合【75%以上】（学校評価アンケート）	
		エ 生徒が就業体験を通し社会人としてのマナーや勤労観を身につけ、進路希望の実現を目指している		・アルバイトや就業体験を行った生徒の割合【80%以上】	
		オ 「学校いじめ対策組織」を中核とし、組織的にいじめの未然防止・適切な対処に当たる		・いじめの発見や予防に努めていると答えた生徒の割合【90%以上】（学校評価アンケート）	
	(2) 取組方針	ア 授業の充実と基礎学力の定着を図る (ア) 基礎・基本の定着を目指した授業展開、落ち着いた学習環境の提供 (イ) 家庭学習の習慣化 イ 農業体験や体験学習について研究し、拡充を図る (ア) 地域交流、コミュニケーション能力育成の視点で体験学習を研究・実施 (イ) 復興担い手育成支援事業を活用した体験学習の実施 ウ 体験的な活動を通して、充実した学校生活の実現を図る (ア) 活動の意義・目的の明確化、協力して取り組む意識の醸成 (イ) 各種体験的な活動への積極的な参加の促進 エ 進路意識を高揚し、社会に貢献しようとする態度を育成する (ア) アルバイト（就業）の推奨と支援 (イ) インターンシップの実施と支援 オ いじめが起きにくい学校・学級風土づくり (ア) 授業や行事等を通じた「居場所づくり」と「絆づくり」の推進 (イ) 集会や特別活動を活用したいじめ問題についての啓発			